

施設愛称が決まりました

令和3年3月完成予定の「新庁舎・市民交流施設」と平成31年4月にリニューアルオープンした「播磨内陸生活文化総合センター」の愛称を、市民投票で次のとおり決定しました。

なお、愛称考案者への最優秀賞等や市民投票の参加賞については、3月中の発送をもって発表に代えさせていただきます。たくさんのご参加をいただき、ありがとうございます。

新庁舎・市民交流施設

市民投票で最多得票となった「Orinas(オリナス)」を愛称として決定しました。

Orinasには多くの人がこの施設に集い、交流し、さまざまな活動が展開されることによって、彩り豊かなまちをともに織りなすためのきっかけの場所となるように、との思いが込められています。

◆問合せ 新庁舎建設室（市役所内線365）

愛称候補名	得票数
Orinas (オリナス)	388
Kirarea (キラリア)	260
Machiie (まちいえ)	236
Furearu (ふれある)	220
Compark (こむぱーく)	183

▲市民投票（1,287票）の結果



播磨内陸生活文化総合センター

市民投票で最多得票となった「Dojiam(ドウジアム)」を愛称として決定しました。

Dojiamには子どもから高齢の方まで誰もが集い、学ぶことで、愛と夢があふれ親しまれる施設になるように、との思いが込められています。

◆問合せ 播磨内陸生活文化総合センタードウジアム（☎23-5992）

愛称候補名	得票数
Dojiam (ドウジアム)	417
Manabie (マナビエ)	313
Flat (ふらっと)	263
Harikaru (はりかる)	131
童子山Past (童子山ぱすと)	109

▲市民投票（1,233票）の結果



兵庫県立大と連携授業を実施

～大学生×西脇市 若い力で地域を元気に～

西脇市と兵庫県立大学は、平成31年3月に締結した連携協定のもと、本市を学びの場とした「地域創生人材教育プログラム」を年間通じて実施しました。このプログラムは令和元年度に同大学の2年生約50人が学部の枠を越えて受講。正式な単位として認定されるものです。

学生たちは延べ45日間にわたり西脇市を訪問。6班に分かれて地域の団体から話を聞いたり、地域資源に触れたりして本市への理解を深めました。そして、地域課題の解決策を提案し、さまざまな取り組みを行いました。

中心市街地で交流の輪を
中心市街地で住民のつながりづくりを研究した班は、中心市街地の拠点施設「西脇135」に、地域の方から譲り受けた本を活用したりサイクル図書館を開設。看板作りイベントを開くなど、住民の居場所づくりに取り組みました。食育を広めたい
食育や食文化の啓発をテーマとした班は、市内で食育活動に取り組みいずみ会や西脇工業高校の生徒とともに、地域の食材を使った高校生向けのレシピを考案。子育て世代



を対象とした野菜の収穫体験や試食会も企画・実施しました。

学生らが地域の方と協力して制作したレシピ動画は、ホームページから見ることができず。
移住・就業体験を企画・運営
就職や進学を機に市外へ流出する若者が多いことに着目した班は、インターンシップ（就業体験）と移住体験の実施をセットで企画運営しました。

◆問合せ
次世代創生課（市役所内線211）
その他、黒田庄地区や比延地区で、地域の方と交流を重ねたり、大学の留学生などを対象に西脇の文化や食を体験するツアーを企画したりして6班が創意工夫しました。

経済的な理由で修学が困難な方の負担を軽減するため、修学に必要な資金を貸し付けます。

対象（全ての項目に該当する方）
① 大学、短期大学または専修学校（専門課程）に在学する方
② 市内に1年以上居住し、住所を有する方
※ 市内に1年以上居住し、修学のために転出している方も含みます。
③ 経済的な理由で修学が困難な方
④ 学長などの推薦がある方
⑤ 他の奨学金（無利子貸付・給付）を受けていない方
◆ 限度額 月額5万円
◆ 利率 無利子
◆ 償還方法
貸付終了後、1年経過後から貸付期間の2倍の期間内で償還してください。
※ 上級学校在学中は猶予され



奨学金貸付制度をご利用ください

6月1日から申請受け付け

◆ 連帯保証人 2人必要
◆ 受付期間 6月1日（月）～30日（火）
※ 7月以降も申請を受け付けますが、貸し付けは申請月分となります。
◆ 申請書類
① 貸付申請書（所定様式）
② 学長等の推薦書（所定様式）
③ 連帯保証人の納税証明書（令和元年度分の市町村民税の納付状況が分かるもの）
※ 連帯保証人が市内に住所を有する場合は不要です。
◆ 申請条件
父母の令和2年度市・県民税の申告をしている方に限ります。
※ 所得がない場合でも申告する必要があります。
◆ 申請書類の配布
所定様式は4月1日（水）から教育総務課で配布します。また、ホームページからもダウンロードできます。
◆ 申請・問合せ
教育総務課（市役所内線532）



▲西脇ロイヤルホテルでのインターンシップ

この企画ではインターンシップ以外にも、地域住民との交流会や市内観光が行われ、学生に西脇市での生活を想像しながら、西脇市の魅力に触れてもらうことに焦点を当て実施されました。学生にとっては、西脇の魅力や企業の業務について学ぶことができる貴重な機会でした。学生たちは意欲的にそれぞれの業務に取り組み、自分たちの将来に思いをはせました。



▲記事を担当した高橋さん、小山さん、上村さん（左から）

インターン生が広報紙の記事を作成しました
「ひと味違う！ 大学生目線のインターン」
文・写真：市役所でインターンシップを経験した高橋潤平さん（関西学院大3年）、小山純花さん（兵庫県立大2年）、上村聡太郎さん（兵庫県立大3年）
記事内学生はインターンシップ参加当時